

2005年 6月 13日

各 位

杏 林 製 薬 株 式 会 社
ドクタープログラム株式会社

杏林製薬株式会社によるドクタープログラム株式会社の 100%子会社化について

杏林製薬株式会社(東京都 代表取締役社長:荻原郁夫)は、ドクタープログラム株式会社(東京都 代表取締役社長:渡辺治樹)の株式を取得し、100%子会社化いたしました。

1. 株式取得の趣旨

杏林製薬(株)は、本年度より目指す企業像として「グローバルな創薬ビジネスをコアとし、信頼をベースとした特色ある複合ヘルスケア企業」を掲げ、新たな中期経営計画「キョーリンMIC-’09計画」をスタートいたしました。

その中で、医薬事業に次ぐ将来を担う新規事業の構築を基本戦略のひとつとして掲げ、健康貢献という企業理念の具現化を図るとともに、創薬ビジネスを補完し、企業の安定成長を図るために特色ある健康関連事業への進出を企図いたしております。新規事業といたしましては「信頼感のあるGE事業」「ドクターの推奨を得るヘルスケア事業」「医療との連携によるウェルネス事業」を基本領域としておりますが、今回子会社化したドクタープログラム(株)はヘルスケア事業の核として成長するものと期待しております。

ドクタープログラム(株)は現在、肌にやさしい美容成分を厳選し、かつ独自に開発した高濃度ナノカプセル(リポソーム)、ホチキスポリマーといった製薬技術を応用することで「高機能性」を目指した化粧品ブランド「トリニティーライン」を開発・販売しております。今後も化粧品への製薬技術の応用を積極的に実行し、現在拡大しつつある『製薬系スキンケア』市場において確固たる地位を確立したいと考えております。

杏林製薬(株)は子会社である株式会社ビストナーのビストナー壱号投資事業有限責任組合を通じて、ドクタープログラム(株)に対し2001年10月より投資を行っております。既に発行済株式数の80%を保有しておりますが、100%子会社化し技術・資金両面で直接支援を行うことで、高い製品力を有する同社の成長をより一層加速させ早期に確固たる地位を確立することが出来るものと判断いたしました。また、ドクタープログラム(株)の収益拡大が杏林製薬グループの一層の基盤強化に繋がるものと考えております。

なお、(株)ビストナーは2000年7月に杏林製薬(株)の子会社として新規事業戦略の展開を専門的に推進することを目的に設立いたしました。今回の案件が初めての戦略的な提携となります。また、現在、22件の案件に投資いたしておりますが、今後も新規事業の発掘や育成、更には当案件のような両社にメリットのある事業提携を進めて参ります。

2．株式取得先の概要

ドクタープログラム(株)の主な内容は以下の通りです。

- (1)商号 ドクタープログラム株式会社
- (2)事業内容 ①医薬品・化粧品原料の開発及び販売
②基礎化粧品「トリニティーライン」の開発及び販売
- (3)設立年月 2001年3月
- (4)本店所在地 東京都港区南青山2-27-14 ドーリック南青山4F
- (5)代表者 渡辺 治樹
- (6)資本金 7,000万円(資本準備金6,000万円)
- (7)発行株式総数 1,000株
- (8)株主資本 123百万円(2004年6月期)
- (9)総資産 171百万円(2004年6月期)
- (10)決算期 6月30日
- (11)従業員数 8名

3．ドクタープログラム(株)の最近事業年度における業績(2004年6月期)

売上高 218百万円

経常利益 3百万円

4．その他

杏林製薬(株)よりドクタープログラム(株)へ取締役を派遣いたします。

5．業績に与える影響

杏林製薬(株)の2006年3月期の業績への影響は軽微であり変更はありません。

- 以上 -

<お問合せ先>

杏林製薬株式会社 経営企画部

TEL:03-3293-3414

ドクタープログラム株式会社

TEL:03-3478-3838

(参考資料)

ナノカプセル(リポソーム)技術とは？

ナノとは、10億分の1メートルを表す単位です。このナノの単位で成分や素材を制御して製品を作り出すことが「ナノテクノロジー」と呼ばれるものです。人間の肌の細胞と細胞の間(約250ナノメートル)を通り抜けるように特殊加工した美容成分を肌になじみやすい成分でコーティングし、直径200ナノメートル以下のナノカプセル(リポソーム)を作り、肌の奥まで届いた段階で内包した美容成分が溶け出すよう設計されたものが、その美容成分の効果をより有効的に引き出すことのできる「最新ナノテクノロジー化粧品」です。その浸透力は当該成分の単純塗布と比較して約7倍となっています(水溶性ビタミンC誘導体の場合)。ドクタープログラム(株)のスキンケアアイテムには、洗顔アイテムをのぞいたすべてにこのナノカプセル(リポソーム)技術が利用され、更にトリニティーラインのナノカプセルは多重層で高濃度、直径は平均40ナノメートルと、カプセル技術では国内トップレベルのクオリティです。そのうえ、「ターゲティング」というナノカプセルに内包した美容成分を肌の中の狙った場所へと送り込むシステムにもチャレンジしています。

ホチキスポリマー(人工皮膚技術)とは？

ホチキス針のようなコの字型の形状をしているトリニティーライン独自の複合成分です。ホチキス形の2本の足に当たる部分は、皮膚の構成要素のひとつであるリン脂質で出来ているので、肌へのなじみが良く、肌上層部に入り込むことができます。足の部分が入り込むと同時に、上部の収縮バネ成分が引き合っ肌表面にメッシュ状のネットを作り、高い通気性を保ちながら強力な保水性・カバー力を発揮します。その素材にファンデーションパウダーを結合させることで、強力に肌にフィットし、長時間崩れない耐久性、小顔づくり、シミ・毛穴などの欠点を隠すカバー力を得ることが可能になります。また、重力やエイジングによる顔のたるみなどにも積極的にアプローチできます。